

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ジョバンニの森			
○保護者評価実施期間	令和7年1月27日 ~ 令和7年2月24日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年1月27日 ~ 令和7年2月24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療関係や福祉関係の様々な資格保持者が勤務しており、医療福祉が密接な関係にあるため多方面からの支援が可能。	定期的に事業所内での会議を行い、それぞれの経験や知識・専門性から多角的アプローチを以て意見を出し合い、より良い支援に繋がるよう取り組んでいる。	引き続き特定の専門職に偏らない人材配置に心がけていく。
2	多機能型事業所であるため、就労継続支援B型が同じ施設内にあり、世代を越えて様々な世代間の交流が図りやすく、定期的に開催する共同イベント等を通して交流する機会がある。	児童以降（放課後等デイサービスから就労継続就支援B型）の地図の支援を行うことができる。	今後も継続して就労継続支援B型の利用者様との関わり・交流の場を設けていく。さらにイベント等に地域社会や他の事業所の利用者様を招待し交流の機会を作る。
3	文化施設の多い文教地区という文化的利便性が高く、美術館や公園、チャイルドハウスなど周囲の環境に恵まれている。	都市中心部であるが、周辺に自然に恵まれた森林がたくさんあり、公園も多く戸外での活動が充実した内容で行うことができる。	今後も継続して周辺の施設を活用し、活動の幅を広げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあるため、現時点では身体障害の児童をの受容に制限がある。	建物の構造上、設備を変更することは難しいが、安全面を考慮し工夫している。	階段に滑り止めや手すりを設置し、送迎車には福祉車両を導入している。設備の変更は建築上難しいが、今後は出来る範囲で身体障害の児童の受け入れも検討していく必要がある。
2			
3			